

## 2010年3月期 第1四半期決算電話説明会 質疑応答

実施日：2009年8月4日(火)

当社説明者：取締役執行役員 横田明宜、IRグループマネージャー 上田孝一(司会)

以下は、決算電話説明会における主な質疑応答を取りまとめたものです。

Q1) 7月の足元の状況を教えて欲しい。

A1) 後半は雨がちの日は続いたが、7月の入園者数はほぼ予想どおりであった。

Q2) ゲスト1人当たり売上高が、予想比で「若干上回っている」とのことだが、その内訳を教えて欲しい。

A2) 内訳としては、チケット単価が下回ったものの、商品・飲食単価が上回った。

Q3) ホテル事業について期初予想ではどのように見込んでいたのか教えて欲しい。

A3) 各ホテルは、25周年の翌年であるため、前期を若干下回ることを見込んでいたものの、東京ディズニーランドホテルは開業して1年以内ということで、前期並みで見込んでいた。

Q4) 売上の減少が、そのまま利益の減少につながっているように見えるが、何か特殊なコストがあったのか。

A4) 25周年関連除却費の発生があったほか、人件費が増加している。これは準社員の在籍期間が長くなったことで、単価や社会保険料が増加したためである。しかしながら、今後については、募集費などの減少、準社員の習熟度向上による生産性の向上といったプラスの側面も出てくると考えている。

Q5) 上半期・通期の予想を変更しない根拠を教えて欲しい。

A5) 第2四半期以降が、テーマパーク入園者数のボリュームゾーンであるためである。今後、人気のハロウィーンイベントや東京ディズニーシーでの新アトラクションなど、強めの商材を用意している。なお、補足情報としては、インフルエンザの影響によりキャンセルされた団体ゲストについては、ある程度戻ってきていただけると考えている。また、夏休み、9月の連休等のホテルの予約状況はよい。

Q6) 今回の決算発表を受けて、自社株買いについてどのように考えているか、教えて欲しい。

A6) 株主還元の方針については、これまでと変更はない。株価の状況等をみながら、総合的に検討していく。

Q7) 悪天候にも関わらず、7月が予想どおりの入園者数となった要因について教えて欲しい。

A7) 観光シーズンを迎えて、ゲストが動きやすい状況になったことがその一因として考えられる。

Q8) 中国からの個人ビザが解禁され、来年には成田・羽田空港の拡張が予定されている。何か取り込む施策は考えているのか、教えて欲しい。

A8) 中国からの旅行者数の動向を見ながら、タイミングよく効率的なマーケティングを検討していく。

以上